

音声コード	大項目	小項目	カテゴリ	読上内容	該当問題
P_01_001	環境	温熱感覚	用語	【温熱感覚】とは、人が感じる暑さ・寒さの感覚をいう。	08024, 03085, 16012
P_01_002	環境	温熱感覚	用語	【温熱4要素】とは、温度(気温)、湿度、風速(気流)、周壁の放射(放射)をいう。	08024, 03085
P_01_003	環境	温熱感覚	用語	【放射(放射)】とは、空間を挟んで互いに離れている2つの物質間において、熱が空間を通過することをいう。	08024, 03085
P_01_004	環境	温熱感覚	用語	【温熱感覚の要素】には、「室内環境の4要素(気温、湿度、気流、放射)」と「人間側の2要素(作業量、着衣量)」の6要素がある。	08024, 03085, 16012
P_01_005	環境	温熱感覚	用語	【有効温度(ET)】とは、気温、湿度、気流の3要素により求まる温熱指標をいう。	08024
P_01_006	環境	温熱感覚	用語	【修正有効温度(CET)】とは、有効温度に放射の影響を加味した温熱4要素により求まる温熱指標をいう。	08024
P_01_007	環境	温熱感覚	用語	【新有効温度(ET*)】とは、気温、湿度、気流、放射、作業量、着衣量の6要素より求まる温熱指標をいう。	03085, 13015, 17011
P_01_008	環境	温熱感覚	用語	【温熱指標】とは、体感の尺度とするもので、温熱要素の総合によって表される指標をいう。	08024, 03085
P_01_009	環境	温熱感覚, PMV	用語	【PMV(予想平均温冷感申告)】とは、温熱環境の6要素(気温、湿度、気流、放射、作業量、着衣量)を考慮した熱的中立に近い状態の人体の温冷感を表示する体感指標をいう。	06014, 08181, 10193, 12183, 13015, 17011
P_01_010	環境	温熱感覚, PMV	数値	【PMV(予想平均温冷感申告)】は、0を中立とし、+1でやや暖かい、+3で暑い、-1でやや涼しい、-3で寒いことを表し、ISO(国際標準化機構)においては、-0.5~+0.5の範囲を快適範囲としている。	06014, 08181, 10193, 12183, 13015, 17011
P_01_011	環境	温熱感覚, PMV	用語	【熱的中立状態】とは、熱くもなく、寒くもない状態(どちらでもない状態)のことをいい、平衡状態ともいう。	06014, 08181, 10193, 12183, 13015, 14012, 17011
P_01_012	環境	温熱感覚	用語	【標準新有効温度(SET*)】とは、相対湿度50%、き座位、着衣量0.6clo、静穏な気流の状態に標準化し、比較を可能にした「新有効温度」をいい、人体の深部層と皮膚層の2層モデルにより表現した熱平衡方程式に基づく体感指標である。	06014
P_01_012_02	環境	温熱感覚	数値	【標準新有効温度(SET*)】による温冷感において、「快適、許容できる」の範囲は、22.2~25.6℃となり、「やや暖かい、やや不快」の範囲は、25.6~30.0℃、「やや涼しい、やや不快」の範囲は、17.5~22.2℃となる。	18012
P_01_013	環境	温熱感覚	数値	椅座位の場合、くるぶし(床上0.1m)と頭(床上1.1m)との【上下温度差】は、3℃以内が望ましい。	14011
P_01_014	環境	温熱感覚	その他	【全身温冷感(全体的な温冷感)】が中立状態に保たれていても、局所温冷感(局所的な温冷感)に係る不快要因が存在すると快適性は損なわれる。	14012
P_01_015	環境	温熱感覚	数値	室内では、【気流速度】を0.1~0.3m/sとすることが望ましい。また、平均風速が低くても、気流の乱れの強さが大きい場合には、不快に感じることがある。	14013, 18013
P_01_016	環境	温熱感覚	数値	【床暖房時の床表面温度】が人間の体温(36℃)程度に上昇すると、低温やけどを引き起こす危険性があるため、床暖房時の床表面温度については、一般に、最高温度を29℃以下に設定することが望ましい。	14014
P_01_017	環境	温熱感覚	数値	【冷たい窓や壁面に対する放射の不均一性の限界】は、室温と10℃差以内、上下方向で5℃以内とされる。	14015
P_01_018	環境	温熱感覚	用語	【エネルギー代謝量】とは、人は労働により体内に蓄積されているエネルギーを消費し、その補給を食物の摂取によって行う消費量のことをいう。	15071
P_01_019	環境	温熱感覚	数値	椅座安静時の場合、単位表面積当りの【エネルギー代謝量】は、58.2W/m ² となり、この値が1MET(メット)となる。尚、エネルギー代謝量は身体の表面積に比例する。	15071
P_01_020	環境	温熱感覚	単位	【クロ値】は、「熱抵抗」とも呼ばれ、1cloとは、気温21℃、相対湿度50%、気流0.1m/sの環境下で、安静椅座の成人男子が暑くもなく寒くもなくちょうど良いと感じる(快適に感じる)衣服の熱抵抗と定義される。1clo=0.155m ² K/Wと定義される。	15013, 18011

音声コード	大項目	小項目	カテゴリ	読上内容	該当問題
P_01_021	環境	PMV	用語	【ISO(国際標準化機構)】とは、あらゆる製品、用語、方法等の規格に対し、国際的標準化を推進するための協力機関である。	10193
P_01_022	環境	作用温度	用語	【作用温度(OT)】とは、気温、気流、輻射の影響を数値化することによって、体感温度を示す尺度であり、湿度の影響は加味しない。尚、無風(0.2m/s以下)の場合における作用温度は、気温と平均放射温度との相加平均に等しくなる。 $\text{作用温度(OT)} = \frac{\text{気温(t)} + \text{平均放射温度(MRT)}}{2} \text{ (}^\circ\text{C)}$	04011, 10192, 12014, 18015
P_01_023	環境	作用温度	用語	【平均放射(輻射)温度(MRT)】とは、室内気候において、人体に対する輻射熱の影響を考慮した体感指標をいう。	04011, 12014
P_01_023_02	環境	温熱感覚	公式	【平均放射温度(MRT)】は、グローブ温度、空気温度及び気流速度から求められる。	18014
P_01_024	環境	温熱感覚, PMV, 作用温度	用語	【体感指標】とは、人間の熱的環境に対応する体感を一つの指標で表したものである。	06014, 08181, 10193, 12183, 04011, 12014, 04084
P_01_025	環境	作用温度, 湿度	用語	【グローブ温度計(黒球温度計)】とは、周壁からの輻射等による平均放射(輻射)温度の測定に用いる測定器であり、直径15cm程度の黒いグローブ球の内部に温度センサーを設置したものをいう。	12014, 03024, 15074
P_01_026	環境	湿度, 湿り空気	用語	【湿り空気線図】とは、乾球温度、湿球温度、絶対湿度、相対湿度、露点温度、エンタルピーのうちのいずれか2つが確定すれば残りの要素が決定できる図表をいう。	03024, 07011
P_01_027	環境	湿り空気	用語	【エンタルピー】とは、温度を基準にして測った流体中に含まれる熱量をいう。	07011
P_01_028	環境	不快指数	用語	【不快指数(DI)】とは、気温が一定のとき、湿度が高くなると蒸し暑くなったように感じるなど、気温と湿度の影響を数値化することによって示す体感指標をいう。不快指数(DI) = 0.72 × (乾球温度+湿球温度) + 40.6	04084
P_01_029	環境	湿り空気, 結露	用語	【飽和水蒸気量(Wmax)】とは、空気を含みうる水蒸気量の最大値をいう。	07012, 07013, 07014, 13013
P_01_030	環境	湿り空気, 結露	用語	【相対湿度】は、次式のように表され、空気中に含まれる水蒸気量(W)とその空気と同じ温度における飽和水蒸気量(Wmax)との比(百分率)をいう。 $\frac{W}{W_{\max}} \times 100 = \text{相対湿度(\%)}$	07012, 07013, 07015
P_01_031	環境	湿り空気, 結露	用語	【露点温度】とは、相対湿度が100%となるとき乾球温度のことであり、このとき空気に含まれる水蒸気量は、飽和水蒸気量となる。また、重量絶対湿度を一定に保ちながら空気を冷却した場合に相対湿度が100%となる温度をいう。	07013, 07014, 13013
P_01_032	環境	湿り空気, 結露	単位	【水蒸気(W)】の単位は、「kg」で表す。	07013, 07014, 07015, 13013
P_01_033	環境	湿り空気, 結露	単位	【湿り空気(A)】とは、水蒸気が溶け込んでいる空気のことをいう。その単位は、「1m ³ =1kg(A)」で表す。	07013, 07014, 13013
P_01_034	環境	湿り空気, 結露	単位	【乾き空気】とは、全く水蒸気を含まない空気のことをいう。その単位は、「kg(A)」で表す。	07013, 07014, 13013
P_01_035	環境	湿り空気, 結露	単位	【絶対湿度】とは、湿り空気1m ³ 中に含まれる水蒸気の重量をいう。その単位は、「kg/kg(A)または、kg/m ³ 」で表す。	07013, 07014, 13013, 16033
P_01_036	環境	結露	用語	【結露】とは、水蒸気を含む空気が壁などに触れて冷やされ、露点温度以下になり、過剰な水蒸気はその表面で凝結する現象をいう。	07014, 10011, 04013, 10014, 10015, 16031, 16033, 16034
P_01_037	環境	湿り空気	その他	換気を行うと、一般に、室内の絶対湿度が低下するため、表面結露の防止に有効である。	16033

P-01.「環境」/音声テキスト

音声コード	大項目	小項目	カテゴリ	読上内容	該当問題
P_01_038	環境	結露	用語	【ヒートブリッジ(熱橋)】とは、熱移動が著しい部分をいう。外壁の出隅部分(熱橋部分)においては、室内側表面積より、屋外側表面積のほうが大きくなるため、室内側表面温度が一般部より低下し、結露しやすくなる。	10014, 16034
P_01_039	環境	結露	その他	暖房した部屋で発生した水蒸気が、屋外に接した北側の非暖房室に流入すると、表面温度の低い壁面等で結露しやすい。	16031
P_01_040	環境	建築計画	その他	【住宅の防暑・防寒・防風計画】には、南側に落葉樹、北側に常緑樹など方位によって樹種を使い分けることが有効である。	03075, 08083
P_01_041	環境	建築計画	その他	【南下がりの傾斜地に建つ住宅】では、影及び北風の影響を受けにくく、平坦地に比べて、暖房負荷は少なくなる。	11085
P_01_042	環境	建築計画	その他	【二重扉】は、通行量が多くなると、風除室内外の扉が同時に開放される時間が長くなるため、【回転扉】よりも漏気が多くなる。	09021
P_01_043	環境	建築計画	その他	【強風による超高層建築物に生じる振動】は、水平変位が大きい場合、酔いの症状を起こすことがある。	09083